

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業		評価者	下水道河川課担当課長 杉田 公敬	
都整-27 雨水排水施設維持管理費(特別会計)		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課 下水道河川課 関連課 浄化センター、総合防災課	
総合計画上の位置付け	分野	下水道・河川	施策の方針	下水道の整備・管理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	大雨や台風による洪水や溢水から市民等を守るため。
効果	低地排水ポンプ場及び河川・水路護岸等の雨水排水施設の良好な状態を保持する。

2 平成27年度に実施した事業の概要

・台風や大雨等による溢水や洪水等の被害を未然に防ぐため、水路や排水溝等の雨水排水施設の修繕を行うとともに施設のしゅんせつ・清掃等の業務を委託した。 ・雨水幹線の劣化診断調査結果を基に施設の改修・修繕を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		データ区分	28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯		・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	71,305	30,130	当初予算(千円)	62,902			
	国県支出金			国県支出金				
	地方債			地方債				
	その他	4,299	4,746	その他	4,295			
	一般財源	67,006	25,384	一般財源	58,607			
事業経費運営	人員配置数	2.6	2.8	人員配置数	2.6			
	人件費(千円)	19,946	21,789	人件費(千円)	20,413			
	総事業費(千円)	91,251	51,919	総事業費(千円)	83,315			
	市民1人当りの経費(円)	514	293	市民1人当りの経費(円)	471			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	
					事業へ統合
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	雨水排水施設の修繕工事は、突発的で緊急性の高いものが多いことから、緊急時に備えることはもとより、施設の健全度評価に基づいた事業を進める。		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	市民要望が増える中、要望に対応するためには、事業費は削減できない。 施設の改修・修繕が完了した雨水幹線は、良好な維持管理はできるようになったものの、雨水幹線の劣化診断調査に基づく修繕の必要な箇所が多数残っている。 引き続き、雨水排水施設の維持管理が平成27年度に策定した「鎌倉市社会基盤施設マネジメント計画」に基づき、さらなる予防保全型管理を行い、事業を推進する。
-------------------	--

平成27年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	財政状況から雨水排水施設の修繕が予定通り実施できていないため、今後、施設の良い維持管理を保持することが危惧される。	
課題解決のために行った平成27年度取組	規定の予算内で施設の修繕、改修を行うため、安全性を考慮しながら、低廉な工法選定し、実施した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	雨水幹線等の劣化診断調査結果に基づく、補強修繕必要箇所が多数残っている。 平成27年度に策定した「社会基盤施設マネジメント計画」に基づく予防保全型管理を行い、現状把握に努め、長寿命化計画を策定し、補助金を確保しながら、事業を推進する。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項										
団体名	鎌倉市									
他市実績										
比較事項										
団体名	鎌倉市									
他市実績										
比較事項										
団体名	鎌倉市									
他市実績										
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方										

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	雨水幹線の補強修繕						単位	m	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
道路下に埋設されている雨水幹線は、劣化箇所等の補強修繕が継続的に必要なため。	目標値	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0				
	実績値	200.0	200.0								
	達成率	100.0%	100.0%								
指標の内容	修繕要望対応件数						単位	件	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
日常的に寄せられる雨水排水施設の修繕要望の対応について、継続的な対応が必要なため。	目標値	150.0	150.0	150.0	150.0	150.0	150.0				
	実績値	170.0	145.0								
	達成率	113.3%	96.7%								
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	今後、雨水管線の老朽化が予想されるが、当面は年200mを目標に継続的に対応していく。日常的に寄せられる要望箇所の対応については、年度ごとに件数、内容が異なるため、要望内容を精査して優先順位を決めて、年150件を目標に継続的に対応していく。										

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---